**２０２３年７月28日(金)　与良館会場**

山西雅子選

白い炎昼水のとばしる坂の町 塚田佳都子

 雀蜂腹ふるはせて樹液吸ふ 大塚次郎

〇 虚子の水甕小諸の夏を映しけり 塚田佳都子

 丸太組む辻の鳥居や朝涼し 小倉貴久江

 油蟬鳴くしづけさや土匂ふ 上村敦子

 石山美和子

 鞘翅の紋は曼荼羅道をしへ 大塚次郎

 掌に小さきジャンプ残して青蛙 津田祥子

 初対面なれど涼しき親しさよ 北村武子

 もてなしのトマトにちよと味噌をのせ 田中温子

〇 沢音や石に従ふ蜥蜴の尾 山西雅子

 津田祥子

 片蔭を出てゆくふくらはぎ光り 山西雅子

〇 沢音や石に従ふ蜥蜴の尾 山西雅子

 虚子句碑に胸ほどの丈紫苑かな 石山美和子

 田の神の見回りに来し青田風 大塚次郎

 油蟬鳴くしづけさや土匂ふ 上村敦子

 北村武子

 雀蜂腹ふるはせて樹液吸ふ 大塚次郎

 先生の前をゆくなり道をしへ 塚田佳都子

 ななふしのぽきぽきぽきと歩みをり 大塚次郎

 虚子句碑に胸ほどの丈紫苑かな 石山美和子

〇 軒深く盥に冷えしトマトかな 津田祥子

 田中温子

 笠石も風も灼けつく散歩道 小倉貴久江

〇 初対面なれど涼しき親しさよ 北村武子

 沢音や石に従ふ蜥蜴の尾 山西雅子

 青田風棚田をつなぐ水の音 津田祥子

 薄雲ににじむ藍色雷ひとつ 山西雅子

 上村敦子

 三度目はあらぬ方へと道をしへ 小倉貴久江

 青田風棚田をつなぐ水の音 津田祥子

〇 片蔭を出てゆくふくらはぎ光り 山西雅子

 独活長けて人の世界を遠ざかる 荒井民子

 勢ひよき目高の原種虚子の甕 小倉貴久江

 荒井民子

 どの店も同じポスター町盛夏 矢沢六平

〇 通り雨ありて輝く毛虫かな 矢沢六平

 風すこし檀の青実鳴りさうな 上村敦子

 土用干し終へし田んぼのそよぎかな 小倉貴久江

 草刈りて背中合わせの二人かな 上村敦子

 矢沢六平

〇 いきいきと蟬の抜け殻雨あがり 上村敦子

 米振ふ農具花野に置かれあり 荒井民子

 土壁の顕はな蔵や油照 石山美和子

 縁側の板の軋みや夏日濃し 田中温子

 独活長けて人の世界を遠ざかる 荒井民子

 塚田佳都子

〇 ななふしのぽきぽきぽきと歩みをり 大塚次郎

 軒深く盥に冷えしトマトかな 津田祥子

 三度目はあらぬ方へと道をしへ 小倉貴久江

 土壁の顕はな蔵や油照 石山美和子

 片蔭を出てゆくふくらはぎ光り 山西雅子

 小倉貴久江

 土壁の顕はな蔵や油照 石山美和子

 一杯の水供されて夏のほか 石山美和子

 独活長けて人の世界を遠ざかる 荒井民子

 沢音や石に従ふ蜥蜴の尾 山西雅子

〇 油蟬鳴くしづけさや土匂ふ 上村敦子

 大塚次郎

 三度目はあらぬ方へと道をしへ 小倉貴久江

〇 通り雨ありて輝く毛虫かな 矢沢六平

 笠石も風も灼けつく散歩道 小倉貴久江

 朝採りの胡瓜とまとを冷しくれ 北村武子

 草刈りて背中合わせの小昼かな 上村敦子